

お宝はどの箱に入っているのかな？

単 元	整数	対象学年	5 年
ね ら い	たくさんの問題を解くことで、公倍数や公約数の求め方を理解することができるようにする。		

1 準備するもの

教師：ワークシート（必要であれば、計算用紙）

児童：（必要であれば、ノート・・・計算するため）

2 学習のしかた

- (1) () の中の数字の最小公倍数を求める。
- (2) () の中の数字の最大公約数を求める。
- (3) 最小公倍数や最大公約数を求めた後、答えが4の倍数だけ色をぬる。
- (4) 4の倍数だけ色をぬると数字が浮かび上がってくるので、その2つの数字を足すと答えが出る。

3 学習上の留意点

- ・整数の学習を終えてから行う。
- ・クラスの子どもの実態によって、公倍数や公約数を求める際、ノートを使ったり、計算用紙を準備したりする。

4 学習の効果

- ・全部の問題を解くことができなければ、最後の問題が答えられないため、夢中になり楽しんで取り組むことができる。
- ・公倍数・公約数をしっかりと復習をすることができたと答える子が多くなる。



お宝はどの箱に入っているかな？

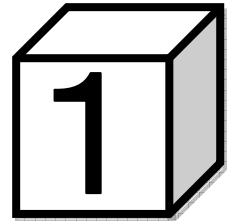
名前



整数の島へようこそ。この整数の島には、宝箱が5つあり、そのうち、宝が入っている箱は1つ。さて、どの箱に宝が入っているかわかるかな？
暗号を解いて、宝が入っている箱を見つけてみよう。

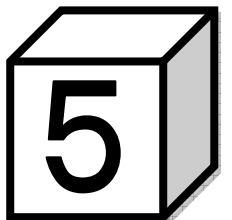
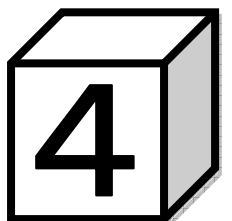
① () 中の数字の**最小公倍数**をもとめよう。

(例) 10 (2 , 5)	(4 , 6)	(7 , 8)	(8 , 6)	(2 , 3)
(2 , 13)	(3 , 7)	(7 , 9)	(4 , 18)	(6 , 9)
(7 , 2)	(4 , 9)	(8 , 3)	(6 , 8)	(2 , 25)
(6 , 3)	(8 , 5)	(9 , 5)	(2 , 9)	(10 , 3)
(5 , 7)	(4 , 5)	(3 , 4)	(4 , 7)	(5 , 2)



② () 中の数字の**最大公約数**をもとめよう。

(例) 6 (18 , 24)	(8 , 12)	(12 , 16)	(8 , 16)	(6 , 18)
(6 , 15)	(9 , 27)	(12 , 15)	(20 , 24)	(5 , 8)
(5 , 10)	(36 , 24)	(20 , 8)	(12 , 24)	(18 , 12)
(6 , 9)	(3 , 5)	(9 , 12)	(36 , 72)	(30 , 5)
(7 , 14)	(48 , 36)	(8 , 28)	(12 , 28)	(6 , 10)



③上の2つの問題で答えが**4の倍数**だけ色をぬろう。浮き出てきた数字を足すと答えが・・・

+

=